

国語科書写の評価について

一学年行書指導から考える

東京都北区立滝野川中学校 関根 克洋

書写指導の重要性

書写の時間は、国語科の授業である。至極、当然のことであるが、年間指導計画をもとに、きちんと授業が行われているのであろうか。そういう私も、国語科の必修授業時数が減った時期から、書写指導を充分に行っていないことを、いつも反省している。その反動として、生徒の文字意識に表われていることは、痛いほど感じられる。

近年、パソコンや携帯電話等と関わる時間が多くなったために、手書き文字の習慣が少なくなっていく傾向にある。このような時代だからこそ、さまざまな筆記具を使って書くことや、日常生活における文字に対する意識を高めさせる必要がある。また、正しく整った文字を書くことの大切さ、文字を書くことによって培われる表現力の尊さを、認識させなければならぬ。

そこで、書写の時間は、国語科の基礎・基

本としての「伝統的な言語文化と国語の特質

に関する事項」であることを踏まえて指導したい。例えば、書写と漢字学習や他の書く学習活動との横断学習、意見文を原稿用紙にまとめさせる際の書き方指導、古典や詩、俳句、短歌の学習の際、授業ノートに書写させるなど、国語科学習の文字指導や「書くこと」の指導と関連づけて、指導していくことが必要になってくる。さらに、書写用語（文字の大小、行の中心、配置、字間、空間、余白、基本点画、筆順、部首）を用いた書字指導も、行わなければならない。

このようにして、学んで身につけた書写の能力を、国語科書写の時間だけでなく、国語科の授業はもちろん、他教科や日常生活に役立てていけるように取り組ませたい。

行書指導計画と評価の実際

第一次

【第一時】ねらい…楷書と比較して行書の特

徴を知り、行書学習の意義を知る。

【第二時】ねらい…①楷書と行書の筆使いの違いを知る。②行書の点画の丸みや連続、右払いの変化を理解して書く。

【第三時】ねらい…行書の点画の連続と方向や形の変化を理解して書く。

第二次

【第四時】ねらい…毛筆で学習した行書の特徴を踏まえ、硬筆で書く。

第三次

【第五時】ねらい…今までの行書の学習を踏まえて、気に入った言葉を選んで毛筆で書く。

【第六時】ねらい…行書の学習を生活の中に生かす。

以上のねらいを踏まえて学習し、自己評価をさせる。振り返ることによって、自分の文字に対する意識付けを図る。

さらに、定期考査では、書写に関する問題を作成し「知識・理解」や「技能」を評価している。◆は主な出題項目である。

